

欧米の図版資料と風俗画報 ～万国博覧会～

センゲージラーニング株式会社 Gale

センゲージラーニング株式会社 Gale のデータベースは、イラストレイトド・ロンドン・ニュース(Illustrated London News, 以下 ILN)に代表される欧米の図版資料を多数提供してきました。図版資料は、都市の景観、社会風俗、日用品などを視覚的に伝えるだけでなく、諷刺画に見られるように、当時の集団的な無意識まで浮かび上がらせる貴重な資料です。歴史資料としての図版資料は日本でも多数発行されてきましたが、それを代表するのが風俗画報です。Gale が提供する図版資料と風俗画報を比較することによって、一方の資料だけでは見えてこない部分が見えてくるかも知れません。

本稿では、ILN など欧米の図版資料と風俗画報を特定のテーマでご紹介します。今回のテーマは万国博覧会です。Gale は万国博覧会の一次資料を包括的に収録したデータベース(Smithsonian Collections Online, World's Fairs and Expositions: Visions of Tomorrow)を提供しています。以下では、ILN とともに、万国博覧会のデータベースからも図版を選んでご紹介します。

※”Illustrated London News”の表記のない画像は、すべて Smithsonian Collections Online, World's Fairs and Expositions: Visions of Tomorrow からのものです。

※Gale Primary Sources は新聞、雑誌、書籍、マニュスクリプトなどの歴史資料を収録する Gale の電子リソースの総称です。

◆Illustrated London News と万国博覧会

ILNにとってロンドンで開催された第1回万国博覧会は特別な意味を持っていました。ロンドン・タイムズなどの有力紙が博覧会開催に批判的な論説を展開する中で、早くから博覧会を側面支援し、開催期間中は世紀の祭典の模様を大きな挿絵で精力的に伝えました。博覧会が19世紀を代表するメディアとしてのイベントになったことへの、ILNの果たした役割を無視することはできませんし、現代人がもつ19世紀の博覧会に対するイメージは、ILNによって形成された部分が大いでしょう。以下に掲げる挿絵についても、一度はどこかで見たことがあるのではないのでしょうか。



Illustrated London News, May 3, 1851



Illustrated London News, June 7, 1851

左は、ヴィクトリア女王臨席の下で行なわれた第一回万国博覧会開会式の模様、右はクリスタルパレスの内側で翼廊を南側から見たもの



Illustrated London News, May 10, 1862



Illustrated London News, May 24, 1862

左は、第二回万国博覧会開会式の模様、右は会場を見学する日本の武士たちを描いたもの

◆博覧会に見る電灯

19世紀の技術を代表するものの一つが電灯です。万国博覧会に電気館(Palace of Electricity)が初めて登場したのは1893年のシカゴ博覧会です。エジソンが白熱電球を実用化して間もない時期に開催された万博会場では、この新しい照明装置が人々の眼を奪いました。



“1904年セントルイス万博のときの電気館(Palace of Electricity)
Grandeurs of the Universal Exposition at St. Louis: Official Book, 1904



サンフランシスコ博でのイルミネーション

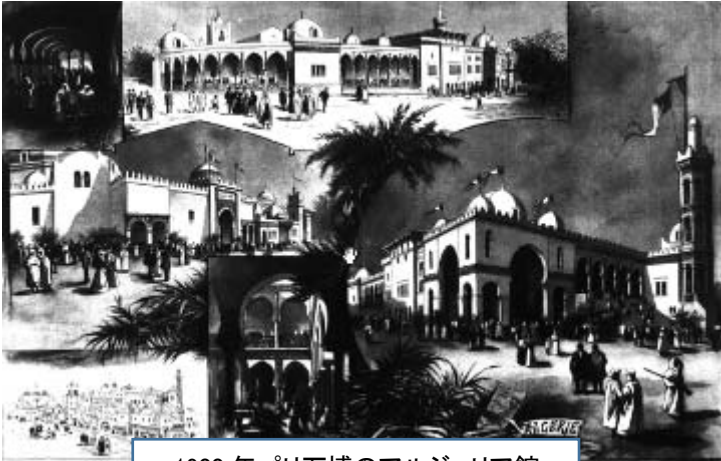
*The Blue Book: A Comprehensive Official Souvenir View
 Book of the Panama-Pacific International Exposition at
 San Francisco at 1915*



シャン・ド・マルス宮殿のイルミネーション
L'Exposition de Paris(1900)

◆博覧会に見る植民地

万国博覧会は、欧米諸国が植民地の獲得を狙って海外に進出した帝国主義時代に最盛期を迎えました。そのため、最先端の技術を展示するのみならず、植民地政策とも強く結びついていました。植民地の文物を展示した万国博覧会は、欧米諸国が自国の国力を示す格好の舞台でもありました。植民地の文物だけでなく、人間も展示の対象となりました。欧米諸国は植民地の先住民族を連行し、彼らの生活を展示会場で再現させたのです。



1900 年パリ万博のアルジェリア館
L'Exposition de Paris(1900), Vol. 2



1900 年パリ万博のチュニジア館
L'Exposition de Paris(1900), Vol. 3



1900 年パリ万博のフランス領ギニア、コート・ジボワール、東
アフリカ海岸の各館 L'Exposition de Paris (1900), Vol. 3



1900 年パリ万博のカンボジア、クメール寺院
Le Panorama de l'Exposition de Paris 1900



1900 年パリ万博のインドシナ館
Le Panorama de l'Exposition de Paris 1900



1900 年パリ万博で植民地のパヴィリオン群のあったトロカデロ
L'Exposition de Paris (1900), Vol. 3



1900 年パリ万博のときのダホメ村(左)。右はダホメ村の労働者たち。ダホメは西アフリカのフランス領植民地
Exposition Universelle de Paris: Underwood & Underwood



1904 年セントルイス万博のときのフィリピンのイゴロト族(左)とフィリピンのヴィサヤ村の生活(右)。
The World's Fair: Comprising the Official Photographic Views of the Universal Exposition, Held in Saint Louis, 1904

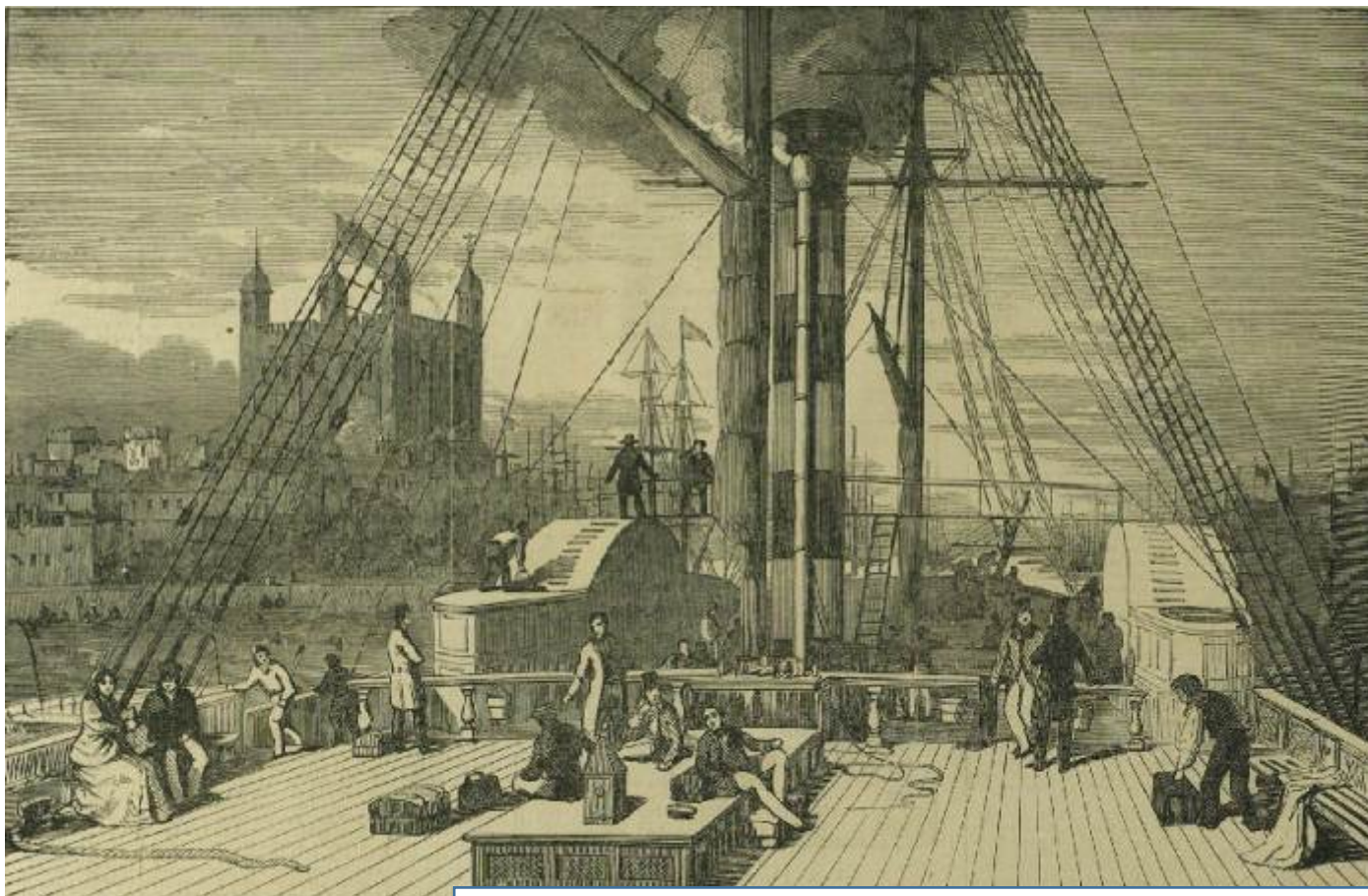
◆万国博覧会に見る鳥瞰図

18 世紀末、パノラマ館と呼ばれる娯楽施設がロンドンに出現しました。円筒形の建物の内部に自然や戦場のシーンを描き、中心の展望台に立つ観客が実物の光景を見ているかのような新しい視覚経験を提供するもので、大きなブームを巻き起こしたと言われています。パノラマとは「遮るものがない状態で一望の下に見渡す」というほどの意味ですが、19 世紀を語る上での重要なキーワードかもしれません。少し万博から離れますが、パノラマ館に関連する図版をご紹介します。



リチャード・バーフォードが描いたパノラマ画。左は極地”Burford's Panorama of the Polar Regions”, *Illustrated London News*, February 23, 1850、右はアルプス”Burford's Panorama of the Bernese Alps”, *Illustrated London News* February 5, 1853

リチャード・バーフォードは 19 世紀に活躍したパノラマ画家で、ロンドンのレスター・スクエアにあったバーフォードのパノラマ館は人気を博したと当時の新聞は伝えています。パノラマのほかにも、視覚効果を狙ったエンターテインメントとして、ジオラマ、コズモラマ、サイクロラマなどがロンドンやパリのヨーロッパの都市で流行しました。



チャールズ・マーシャルの動くジオラマ「ヨーロッパ旅行」
”Diorama of the Tour through Europe” *Illustrated London News*, February 22, 1851

ヘイマーケット劇場の客席を蒸気船に見立て、テムズ川からハンブルクを経てコンスタンティノープルへ、あるいはローマからモンブランへ、というように、観客は旅行の疑似体験を楽しみました。船が進むに従い景色が変わるように絵が変わるため、動くジオラマと呼ばれました。映画の登場を予感させるかのような娯楽装置です。



コズモラマでのアフリカ人の展示 "African Exhibition", *Illustrated London News*, September 14, 1850

リージェント・ストリートのコズモラマで、アフリカのカフィール族の男とアマボンダ族の女が客の前でダンスをしている場面です。もう一人、座っているのはズールー族の長老です。彼らは、現地のイギリス人総督の同意の下、2年間の契約でイギリスに送られてきた、と記事は伝えています。先に万国博覧会で人間が展示されていたことをご紹介しましたが、パノラマ館から派生したコズモラマでも人間が「展示(Exhibition)」されていたことを示しています。

ところで、ロンドンでパノラマ館が流行っていた頃、日本人に馴染みのあるパノラマ画が ILN に掲載されました。「江戸のパノラマ(Panorama of the City of Jeddo)」というキャプションが付いています。フェリーチェ・ベアトが愛宕山から撮影した写真をもとにワーグマンが絵にしたと言われています。パノラマ館用に描かれたものではありませんが、パノラマ館で使われたと想像したくなるような絵です。



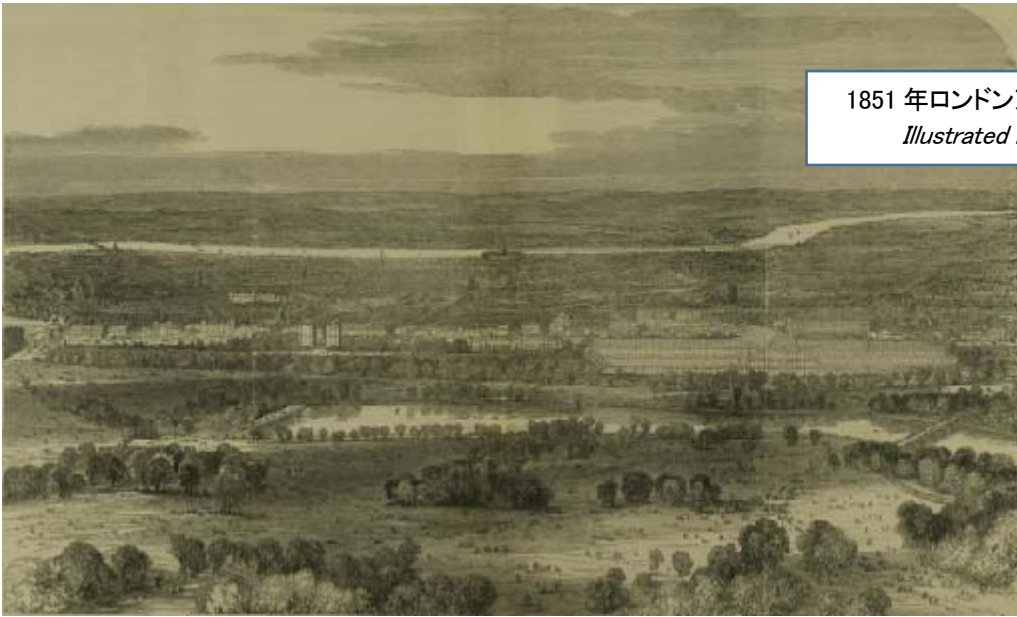
江戸のパノラマ "Sketches in Japan", *Illustrated London News*, October 29, 1864

ロンドンやパリの街頭で流行し、その視覚装置としての威力を実証したパノラマ館は万国博覧会でも使われました。以下は、1900 年のパリ万国博覧会で展示された世界一周パノラマ館における日本の日光と中国の上海を描いたものです。



1900 年パリ万博で展示された世界一周パノラマ館。上は日光、下は上海
Le Panorama de l'Exposition de Paris 1900

万国博覧会は、世界の最先端技術を展示するイベントであるとともに、世界各地を植民地化し、富を収奪した欧米諸国の力を象徴するイベントでもあったことは、先に見た万国博覧会における植民地の展示に如実に表れていますが、パノラマ画を見ると、世界を俯瞰する位置にあって世界の隅々まで見渡そうとした当時の欧米諸国の視線を感じずにはいられません。パノラマやジオラマを通して世界を鳥瞰した 19 世紀最大のメディアイベントとしての万国博覧会。最後に、万国博覧会を鳥瞰した図版を幾つかご紹介します。



1851 年ロンドン万博時のクリスタルパレス鳥瞰図
Illustrated London News, June 14, 1851



1889 年パリ万博会場鳥瞰図
Illustrated London News, May 11, 1889



1900 年パリ万博会場鳥瞰図
L'Exposition de Paris (1900), Vol. 3

1893 年シカゴ万博会場鳥瞰図
World's Columbian Exposition, Chicago



1904 年セントルイス万博会場を観覧車から俯瞰して撮影した写真
Louisiana Purchase Exposition, St. Louis; Stereographs

1915 年サンフランシスコ万博時にお土産本に掲載されたカリフォルニア・タワーからの鳥瞰図
San Francisco, 1915, Souvenir Book with General Images of the Fair



掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。
 掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課
 (電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。